

(様式3)

令和5年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	神社海の駅	所在地	伊勢市神社港68番1
指定管理者名	特定非営利活動法人神社みなとまち再生グループ	指定期間	令和3年4月1日から令和6年3月31日まで
設置目的	神社海の駅は宇治山田港及び勢田川の水運を活かした地域づくりの拠点施設です。		
業務内容	・みなとまちづくり活動事業の実施 ・駅舎施設の維持管理業務		
施設概要	施設面積:290㎡、 施設内容:鉄筋コンクリート一部木造2階建(事務室、会議室、研修室)		
職員体制	事務職員4人		
施設所管課名	監理課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	比較(C-B)	
事業収支	収入	指定管理料	2,970,000	2,983,200	3,168,000	184,800
		利用料金	17,100	27,110	20,120	△ 6,990
		その他	23,822	30,000	20,000	△ 10,000
		計(a)	3,010,922	3,040,310	3,208,120	167,810
	支出	人件費	2,311,450	2,357,710	2,390,346	32,636
		管理運営費	699,472	682,600	817,774	135,174
		その他	0	0	0	0
		計(b)	3,010,922	3,040,310	3,208,120	167,810
	収支差引額(a)-(b)		0	0	0	0

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	人件費については、職員の勤務体制におけるダブルシフト回数の増によりやや増加し、管理運営費については、電気料、警備委託料の増によるものが主な内容です。
----------------------------------	--

3 評価(様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
事業計画書に従った管理を行った。 令和5年度には、神社海の駅ほか「みなとオアシス伊勢」に登録される実績も加わり、今後も一層住民参加による様々なみなとまちづくりを促進する活動を行っていきたい。	施設の管理については適正に行われていた。 みなとまちづくり活動にも積極的に取り組んでおり、設置目的に資する拠点づくりに貢献している。 伊勢市主催の取り組みについては、アンケートを実施して評価を把握しているが、サービスの質の向上として自主事業についても、同様にニーズを探り、今後の活動に活かしてもらいたい。 「みなとオアシス伊勢」に登録されたことをHPなどを活用し、今後も更なる情報発信をしてもらいたい。

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

		施設名		神社海の駅		
評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目		判定	評価理由	判定	評価理由	
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針を理解していたか。	A	施設の目的や基本方針を十分理解し管理を行った。	A	施設の目的や基本方針については、事業計画書にも記載があり、日々の業務にも理解の程が見受けられた。
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。	A	管理運営を通して、施設の目的である「地域拠点づくり」になることができた。	A	施設の利用状況、管理状況から施設の設置目的はおおむね達成できた。
	③利用者数	利用者数は当初の目標を達成したか。	A	台風やコロナにより、平成30年度を最後に中止が続いていた御幣鯛船歓送迎式典を5年ぶりに実施したことにより、利用者数は令和4年度より大幅に増加した。	A	御幣鯛船歓送迎式典等の各種イベントを開催したことにより利用者数が増加した。
	④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。	A	事業計画書のとおりの供用日数・時間を達成した。	A	事業計画書に計画された運営が行われた。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。	A	作業責任者・業務担当者を設定し、適正な配置・勤務が取れた。	A	作業責任者・業務担当者の届出があり、勤務体制としても効率化を図りながら、業務が滞らないよう行うことができた。
	⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	A	事業計画書にうたわれた毎日の業務報告、打合わせを通じて意思疎通を行った。	A	事業計画書どおりの毎月の報告、毎月の打ち合わせを行うことができた。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	業務報告書等で適正に行っている。	A	各種の記録については、適正に整備・保管がなされている。
	⑧地域の振興	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図れていたか。	A	コロナ禍の間、中止や縮小が続いていた各種行事もほぼコロナ禍前の規模に戻して実施でき、毎月辰の市やかみやしろみなとまつりなどの開催を通じて地域の振興を図ることができた。	A	毎月辰の市やかみやしろみなとまつりなどの開催を通じて、地域の振興は図れた。
	⑨使用許可等	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。	A	使用許可等申請の取扱は個人情報の点からも適正、慎重に行った。	A	使用許可書等申請の取扱は適正に行われていた。
	⑩利用料金等の徴収状況	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。	A	各種の帳簿は漏れなく作成を行った。	A	帳簿等は適正に作成され、整理も行われていた。
	⑪個人情報	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	個人情報の取扱については、厳重にチェックを行った。	A	個人情報漏洩などの問題は発生していない。
	⑫法令遵守	関係法令を遵守していたか。	A	個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)など各種法令を理解し、遵守した。	A	法令違反は見受けられなかった。

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

評価項目		施設名 神社海の駅			
		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	A	かみやしろみなとまつりの来場者や、学童クラブ利用児童に対して、みずきⅡ世の体験乗船会を実施した。また、5年ぶりに御幣鯛船歓迎式典も開催に至ることができた。	B	ホームページの更新などにより、利用者の増加を図られたい。
	②利用者の平等な利用	A	打合せの中で情報共有を図り、サービス水準の確保を図った。	A	サービス水準については、期待される水準にあった。
	③適切な情報提供	A	ホームページの掲載やチラシの掲示により、情報提供を行った。	B	紙ベースでの情報提供も行っているが、ホームページの更新回数増加に努められたい。また、「みなとオアシス伊勢」についても積極的な情報発信を行ってほしい。
	④非常時・緊急時の対応	A	特に津波被害を避けるため、ライフジャケットの着用が何よりも優先するとの考えのもと、すみやかに行動に移るよう方針の徹底を行った。	B	緊急時のマニュアルを使用するような事態は発生しなかったが、緊急時を想定した訓練を行う必要がある。
	⑤苦情解決体制及び対応	A	苦情については、迅速に対応している。	A	伊勢市に入る苦情は発生していない。
	⑥自主事業	B	利用者ニーズに即した自主事業を行っているとは自負しているが、アンケートとしては実施しなかった。	B	アンケートなどで利用者のニーズを把握する取り組みを行っていない。
	⑦事業の評価	A	令和4年度から引き続き地域みなとまつりにおいて「みずきⅡ世体験乗船会」を行ったほか、学童クラブ利用児童にも同様の体験乗船会を行うなど、みずきⅡ世の運航実績の拡大につなげた。	B	みずきⅡ世を活用した取り組みが行われたが、事業の評価はされていない。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	定期的に施設の安全点検、機能確認、美観確認を行った。	A	定期的な点検、確認が行われており、記録もできている。
	②備品等の管理	A	備品について丁寧な扱いを心がけ、破損、紛失等がなかった。	A	破損や紛失がなく、適正に管理されていた。
	③修繕業務	A	点検のよって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。	A	応急処置は適正であり、伊勢市への報告も迅速であった。
	④清掃業務	A	清掃は適切に行なわれていたか。	A	予定通りの清掃を行った。利用者からの苦情もなかった。
	⑤防犯体制	A	鍵は定められた箇所に保管し、退庁時には当番を決めて戸締りを行った。委託期間中に防犯に関する問題はなかった。	A	鍵の管理は適正に行われていた。戸締り等、防犯に関するトラブルも発生しなかった。